

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年03月31日

計画の名称	磐田市のスマートICアクセス道路整備												
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	磐田市												
計画の目標	スマートICへのアクセス道路整備等を行い、安全かつ円滑な交通の促進と地域交流、産業の活性化を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,900	A	1,900	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)
1	高速道路ICから工業団地への走行時間短縮 スマートIC整備前後の高速道路ICへのアクセス時間	23分	分	1分

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H26	H27	H28	H29	H30			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	磐田市	直接	磐田市	市町村	改築	(他) 下野部敷地線	道路改築 L=1.4km	磐田市	■	■	■	■	■	1,900	1.6	—
											小計						1,900		
											合計						1,900		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制
磐田市都市施設整備評価委員会に諮り実施

事後評価の実施時期

令和2年3月

公表の方法

磐田市ホームページへ掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

要素事業の下野部敷地線（スマートIC）の供用が令和2年度予定であることから、効果の発現は見られないが、供用開始に向けてアクセス道路の整備促進が図れた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

社会資本総合整備計画を市単独計画から県合同計画へ移行し、スマートICの供用開始に向けて、さらなる整備促進を図る。
計画で掲げた目標「スマートIC整備前後の高速道路ICへのアクセス時間」について、スマートIC供用開始後、市として評価を行っていきます。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	1分
	最終実績値	23分
		スマートIC整備前後の高速道路ICへのアクセス時間
		下野部敷地線（スマートIC）の供用がされていないことから、目標の達成に至らなかった